

熊本YMCAウィンターキャンプにおける感染予防対策について

実施するプログラムは、感染症予防対策の観点から、①密閉空間 ②密集場所 ③密接場面の3つの条件が発生しないように努め、検温、手洗い、消毒、換気など、十分な感染症対策を行ったうえ安全で安心な環境を整えて運営を行います。つきましては、ご参加の子どもたちや保護者の皆様には様々な場面でご協力をお願いすることがございます。ご理解、ご協力の程よろしくお願いいたします。

キャンプ実施に向けて

キャンプ実施の為に以下の対策を行い、準備を進めております。

- ① 参加定員を通常よりも少なくしてキャンプを運営します。
- ② 交通手段は、現地集合解散または十分消毒、換気を行った貸切バス・タクシーを使用します。
- ③ 保護者への説明・報告については、ホームページへの掲載またはご登録頂いたメールアドレスにて配信します。
- ④ 説明会は、キャンプ別にオンラインでの実施、または3密を避けた形で実施します。

キャンプ3週間前に以下の状況の場合は、キャンプを中止とさせていただきます。

- ① 緊急事態宣言が発令されている場合
- ② 学校の休校期間、または分散登校など制限付きでの登校が実施されている場合
- ③ 外出自粛要請、県をまたぐ移動の自粛要請が出されている場合
- ④ キャンプやプログラム実施予定の施設が利用不可の場合

参加者の体調管理について

- ① 健康チェック票を活用し、キャンプ1週間前（宿泊）または3日前（日帰り）から検温、体調チェック（せき、だるさ、息苦しさ）、食欲、睡眠時間、近親者の発熱の有無の確認をお願い致します。健康チェック票はキャンプ期間中、キャンプ終了後も実施するようお願い致します。
- ② キャンプ期間中は原則マスク着用をします。また、手洗い、うがい、手指消毒を徹底致します。
- ③ キャンプ開始7日前に発熱、体調不良の症状がある場合、また同居家族で感染者が出た場合などは、参加をお控え頂くようお願い致します。その際は必ず担当スタッフまでご連絡をお願い致します。

施設の安全管理について

- ① マスク、手指用の消毒液、感染症予防対策に必要な備品を十分に準備します。
- ② キャンプ中の備品は、使用前後に消毒作業を行います。
- ③ 常時、窓や出入り口の開放、換気を行います。

- ④ 宿泊棟や食堂では密接や密集にならないようにスペースを確保して使用します。また、食事は個別の盛り合わせとします。
- ⑤ 入浴については、時間を調節して利用し、密接や密集を避けます。また濡れたタオルについては、外に干すスペースを確保します。
- ⑥ 着替えや洗面用品など、他の参加者と一緒にならないようにリーダーが注意し、子どもたちにも注意喚起を行います。

プログラム中の安全管理について

- ① ソーシャルディスタンスを意識し、参加者同士の距離を1～2mはあけるよう促します。
- ② 備品の使用前後消毒作業、常時換気を徹底して活動します。
- ③ 室内では基本マスクを着用します。やむを得ずマスクを外す場合は、リーダーが適切な指示をします。屋外においては、運動の多可、体調管理の観点により適宜指示いたします。
- ④ 参加者、リーダー共に過度に体力を消費しないように行います。また熱中症予防も意識し、こまめに休憩、水分補給を行います。

緊急時の対応について

- ① 37.5度以上の発熱の場合、体調不良の場合は、病院への受診はせずに原則ご家族のお迎えを依頼させていただきます。予めご了承下さい。
- ② キャンプ期間中に参加者の中で感染者が出た場合は、キャンプを中止いたします。その場合は、感染者以外の参加者用に予備の部屋を準備し、早急に移動できる体制を整えます。
- ③ キャンプ終了後も健康チェック票を活用いただくようお願いします。発熱や体調不良の症状がみられる場合は、キャンプ担当スタッフまでご連絡をお願い致します。